

2010 年度メディアセンター事業報告

組織目的：立教大学の教育研究情報基盤を構築運用する。

事業方針：ICTⁱ基盤の整備と運用、及び、学習・教育・研究活動における ICT 利活用支援を通して、
本学の教育効果と研究成果の向上に努める。

(1) コンピュータ教室の整備と運用

- PC 教室、語学教育用 PC 教室、PC 常設演習室を運用した。
- 語学教育用 PC 教室の更新をした。
- 新座キャンパスの新教室棟 PC 教室を構築した。

(2) 一般教室マルチメディア機器の整備と運用

- 一般教室マルチメディア機器を運用した。
- 定期更新計画による設備更新を行った。
- 全教室への教卓 PC 設置が完了した。

(3) 図書館 ICT 設備の整備と運用

- 図書館サーバのハウジングサービスを行っている。
- 図書館での貸出ノート PC を運用した。

(4) ラーニングスペースの整備と運用

- ラーニングスペースを運用した。
- マキム等に 27 台のラーニングスペースを増設した。
- 国際センターのグローバルラウンジに国際放送視聴モニターを新設した。

(5) ICT 関連貸出機器の整備と運用

- 教員向けに、授業用ノート PC やビデオカメラ等の貸出をした。
- 学生向けに、ノート PC の貸出をした。
- 学生用貸出ノート PC を増設した。(100 台)

(6) 教育研究用サーバの整備と運用

下記サーバを運用した。

- 全カリ英語研究室：ALC ネットアカデミー、スーパー英語 (REO)
- 英語ディスカッションセンター：管理用サーバ等
- 社会情報教育研究センター：RUDA、統計パッケージ用サーバ (SPSS, S-PLUS)、セミナー管理サーバ
- 共生社会センター：管理用サーバ、検索性サーバ
- 教員個人サーバ (3 名)

(7) 学内ネットワークの整備と運用

- 新座キャンパス無線 LAN 整備計画を行った。
- 池袋キャンパス無線 LAN エリアの拡大を行った。
- 新棟竣工に伴うネットワーク環境の整備計画と構築を行った。
 - マキムホール、新座キャンパス新座新教室棟、富士見総合グランドクラブハウスは構築が完了した。ロイドホール、池袋総合体育館は設計を継続している。

- (8) インターネットの整備と運用
- インターネット接続サービスを提供した。
 - 学術認証フェデレーションに加盟した。
- (9) デジタルコンテンツ作成支援
- 授業、イベント収録配信支援をした。
 - 「サイバーラーニング」システムを運用した。
 - 「オンデマンド授業」システムを運用した。
 - オープンアクセスを推進した。(OCW、iTunesU での配信準備を行った。)
 - 社会情報教育研究センター関連コンテンツを作成した。
- (10) V-Campus プロジェクト
- 2011 度末に更新時期を迎える V-Campus の次期システムの要件を検討した。
- (11) 情報共有高度化推進
- 大学情報データベースを運用した。(READ 連携を行った。)
 - ほぼ全教員の研究者情報が整備され READ にも自動登録された。
 - 大学機関リポジトリシステム導入検討をした。
 - 「立教時間」プロジェクトを推進した。
 - システム設計書を作成し、テストパイロット版を稼働させた。
 - QA/FAQ システムを活用したヘルプデスクシステムの計画を立案し予算化した。
- (12) ICT 教育活用推進
- WebClass システムを運用した。(情報リテラシー教育等)
 - 授業支援システムを運用した。(全授業対象)
 - e-Learning 普及に関する中長期計画の素案を作成した。
 - 次期授業支援システム (Blackboard) の本格稼働を目指したが至らなかった。
 - 出席管理機能を追加した。
 - 旧授業支援システムには日英切替機能を追加し次期授業支援システムとの連携を実現した。
- (13) ICT 基盤運用改革
- 2012 年度からの実施に向けて ITILⁱⁱ導入検討のための研修に参加した。
- (14) ICT 関連組織改革
- 既存規程を現状に即した規程に改定 (情報監査委員会の廃止に伴う措置) する予定であったが至らなかった。
 - 大学 CIOⁱⁱⁱの設置を見据えた ICT 関連組織案を検討し、情報企画委員会に提出する予定であったが至らなかった。
- (15) メディアセンター新座分室の新教室棟への移転
- 新座 6 号館 2 階にあったメディアセンター新座分室を新座 8 号館 2 階に移転した。
- (16) その他
- 「私立大学情報教育協会」連絡事務局を行った。
 - 「大学情報サミット」活動を行った。
 - 「大学 ICT 推進協議会」に加盟し本学の連絡事務局を担うことになった。
 - 「社会情報教育研究センター」事務局業務を行った。

- 社会調査士資格申請業務フローを整備しマニュアルを作成した。「多変量解析入門」コンテンツを作成した。ホームページと活動報告案を作成した。

i ICT (Information and Communication Technology) 情報通信技術

ii ITIL(Information Technology Infrastructure Library) IT サービスマネジメントのプロセス、品質が組織に採用されているかを証明するもの。英国規格 BS15000。欧米では、政府の調達基準の1つ。システム運用のアウトソースを図る際の品質の評価基準としても機能。

iii CIO(Chief Information Officer) 最高情報責任者 / IT 担当役員：企業において自社の経営理念に合わせて情報化戦略を立案、実行する責任者。